



病院だより

南砺市民病院

〒932-0211 富山県南砺市井波938番地

TEL 0763-82-1475

FAX 0763-82-1853

<http://shiminhp.city.nanto.toyama.jp/>

年頭のご挨拶



院長 清水 幸裕

皆さん、明けましておめでとうございます。

例年と比べ積雪が少ない年の初めですが、インフルエンザの急速な流行によって皆さんには入院患者さんへのご面会の制限をお願いし、大変申し訳なく思います。

昨年、病院機能評価機構の機能評価を受審し認定されました。これが4回目の受審(5年毎の審査)であり、県内で最多であります。今回の機能評価は、どれだけ患者さんの視点に立った診療が行われているかに重点が置かれていましたが、受審の準備段階や審査中で見つかったいくつかの改善点に対応すべく、病院を挙げて努力しています。また、「患者さんに優しい病院づくり」を理念に昨年開設した「患者総合支援センター(スマイル)」の機能向上も進めていますので、皆さんから忌憚のないご意見を教えて頂ければ幸いです。

当院の将来について皆さんにもご心配をおかけしていますが、当院が今まで通り中心的な役割を果たしながら、南砺市の救急、急性期医療そして地域包括ケアを支え続けていけるように、本年も病院の体制・機能を強化していくように準備を進めています。勿論、病院の機能強化だけでなく経営改善に向かっての方策も必要であります。経営につきましては今年もいろいろな解析・対策を行ってきましたが、本年からはリアルタイムに現状を細かく解析し、それを対策に結び付けていくプロジェクトチームを結成し努力していきます。

地域包括ケアに関しては、病院のすぐ横に南砺市の地域包括ケアセンターが完成し、この1月4日から業務が開始されました。これは、南砺市の医療・介護・保健・福祉に関するすべての部署が1か所に集まり地域包括ケアシステム構築を総合的に推進する拠点施設であります。高齢化社会を迎え、医療に「依存」する時代から医療を生活支援として「活用」する時代に変わりつつあります。それにともなって「治す」から「治し支える」視点の変換が医療に求められています。当院のすぐそばにそのような拠点ができたことの意味を我々が理解し、地域包括ケアシステム構築に向けて当院に課された責務を病院全体が一丸となって遂行していくことが必要であると考えています。

さて、医療の原点は、患者さんの健康を維持あるいは病気を治すことによって生活を支え、人生の幸福に貢献することにあります。「患者さんがいて初めて医療者が存在すること」を職員全てがしっかりと認識しなければなりませんし、患者さん－医療者のパートナーシップは、まず、医療者が患者さんにどれだけ愛情を持って接することができるかが重要であることは今更言うまでもありません。そのような当たり前のことが病院全体に溢れ、皆さんに本当に信頼される病院づくりに向かって、職員一同、本年も不断の努力を行っていきたくと考えています、よろしくお祈りいたします。



流行している感染症のおはなし ～ ノロウイルスによる感染性胃腸炎 ～

感染対策室
感染管理認定看護師
野原 里香

「感染管理」とは、医療が安全に受けられる環境を提供し、院内外のすべての人々を感染から守るため、感染防止対策への意識の向上と共に、地域と連携し感染予防活動を行うなど多岐にわたります。今回は、この時期に特に流行している「感染性胃腸炎」についてお話しします。

Q1. ノロウイルスによる感染性胃腸炎とは

特に冬季に流行し、ウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、嘔吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもや高齢者などでは脱水によって重篤な状態になったり、吐物を謝って気道に詰まらせたりすることがあります。

潜伏期間)通常1～2日

感染期間)嘔吐、下痢などの症状がある間、感染する。

* 症状消失後約1週間～1ヶ月、便中にウイルス排泄があり接触することで感染する。



Q2. 感染予防はどのようにするの？

健康管理

- ・下痢や嘔吐などの症状があるときは調理しない

流水で手洗い

- ・トイレに行ったあと
- ・食事・調理の前

消毒のしかた(塩素系消毒剤を使いましょう)

環境)タオルなどの洗濯とトイレやドアノブなどの消毒(200ppm)
便や吐物処理)(1000ppm)

Q3. 吐物や便を処理するときはどうすればいいの？ 初動が大切です！！

便や吐物を処理するときの注意点

- ①手袋・マスク(あれば使い捨てのエプロン)を装着する。
 - ②飛び散らないように外側から内側に向かって、ペーパータオルなどで静かにふき取り、2重にしたビニール袋の中に入れる。
 - ③ペーパータオルを敷き、塩素系消毒剤(1000ppm)を浸して10分放置後、拭き取る。
 - ④拭いたもの、手袋・マスク・エプロンを袋に入れて密封し、汚染された場所に触れない。
- ☆手袋を外した後は必ず流水、石けん(固形を避ける)で手洗いをしましょう。
☆処理後も塵状になったウイルスが飛んで感染することもあります。



塩素系消毒薬の作り方

1000ppm



家庭用塩素系漂白剤
原液20ml
(ペットボトルのキャップ4杯)



水1ℓ

200ppm



家庭用塩素系漂白剤
原液5ml
(ペットボトルのキャップ1杯)



水1ℓ



病院機能評価の認定証が交付されました

当院では平成13年から、より良い医療を提供するため(財)日本医療機能評価機構の実施する病院機能評価を5年ごとに受審しています。この度、4度目の受審を終了し認定証が交付されました。これからも地域住民の皆さまの安全安心を支え、あたたかで確かな医療を提供してまいります。

